

Baytown Core

第3部 資料編

幕張ベイタウン・コア開館までの経過

記録と編集：福永幸生（パティオス10番街）

1990（平成2年度）

施設概算総事業費見積り

- 建設費 170億円

1991（平成3年度）

施設概算総事業費見積り

- 建設費 約200億円と推測
- その後公表せず

1995

2月 幕張ベイタウン街開き

7/7 千葉県企業庁によるアンケート調査(1～6番街)

- ベイタウン内にぜひ必要なモノ
 1. 市役所、区役所の出張所 56.2%
 2. 集会場、公民館 44.5%
 3. 美術館、図書館 44.2%
 4. テニスコート、プール 43.5%
 5. 生活情報
 - 地域情報発信センター 28.2%
 6. 屋内体育館、多目的運動場 23.5%
 7. 市民講座、カルチャーセンター 23.1%
- コミュニティコアにぜひ欲しいモノ
 1. 図書館 76.2%
 2. 銀行・郵便局 68.5%
 3. 市民センター 65.2%
 4. レストラン、ショップ 36.9%
 5. 小ホール 29.4%
 6. インフォメーションセンター 28.5%
 7. 多目的ホール 26.1%
 8. インターナショナル・コミュニティ・サロン 17.2%
 9. 市民ギャラリー 12.9%
 10. 自治会連合会事務局 12.5%

1996

12月 コア事業化研究会スタートの予定

- 実際には研究会の開催は遅れ、翌1997年7月28日に、ようやく第1回会議が開かれる。

1997

企業庁の資料による1997年度の計画の詳細

- 施設機能 合計14600平方メートル（7600平方メートル・ネット）
 1. ホール、展示ゾーン（2580平方メートル）＝市民劇場、汎用実験空間、楽屋、控え室、展示ギャラリー、倉庫、文化協会事務室
 2. コミュニティ・ゾーン（3550平方メートル）図書館、公民館、市民センター、飲食・物品施設、その他のサービス施設
 3. コミュニケーション・ゾーン（1310平方メートル）多目的ホール、市民サロン、駐車場、機械室など

3月中旬 県企業庁からの要請

- 企業庁から自治会連合会（準備会）に、「コア事業化研究会」に3人の住民代表を選出するよう要請がある。
- コア事業化研究会（住民3名、街づくり協議会事務局長、千葉市企画調整局調整課長、三井不動産千葉支店長、千葉県国際文化課長で構成）の発足を構想。
- 連合会（準備会）が住民に参加を呼びかける。
- 「住民代表募集」のお知らせが各掲示板に張り出される。

3/20 住民による初会議

- 住民21名が集まる。1番街集会室
- 代表に海下、岩瀬、下川の3名を選ぶ。
- 要望：「学童保育クラブを」「コアの建設を急いで欲しい」「テニスコートを」「家庭菜園を」「高齢者のことを考えた街づくり」「便利な図書館を」などが出る。

4/13 コア研第2回例会

- 参加者：36名、3番街集会室
- ゲスト：企業庁加藤副主幹ら3人から、コアの建

設計画を聞く。

- 第1期の竣工は、平成13年の予定。
- 「住民の新しい発想を取り入れたい」「テニスコート、家庭菜園などについて『検討する』」との回答。
- 「ケーブルテレビ局」開設、「幕張探検隊」のメッセ訪問報告、ミニコンサートの計画について参加者からアピールがあり、これらを支援していくことを確認。

- 各番街のメディア委員を任命。

4/25 「ベイタウンに子どもルーム建設を目指す会」全住民にアンケート調査実施

- 約90%がルーム設置に賛成し、約50名が即時設置を訴える。

4/30 「この指とまれ」を全戸に配布。

- 「子どもルーム」「CATV」「テニスコート」「ミニコンサート」「幕張探検隊」「メッセボランティア」「マルチメディア」「家庭菜園」の8グループの呼びかけ。

5/11 コア研第3回例会

- 参加者：約50名、5番街集会室
- ゲスト：下村幕張メッセ専務が「地域との連携」を訴える。

- 各グループから経過報告

- 11番街リサイクル、ジョギング教室、打瀬小学校校庭解放委員会などのアピール。

- 会計担当を決める。

- コアの建築を考える会の結成、コア運営委員会開催の呼びかけ。

5/17 コア建築研究会

- 第1回目の会合

- 一級建築士数人、建築雑誌記者、福祉問題専門家など10人前後が集まる。

- コア研のシンクタンク部門

- 世話人：岩瀬さん

5/20 幕張ベイタウンニュース創刊

5/20 「テニスコート」、企業庁との初協議

- 「テニスクラブ」結成、参加者約100人コミュニティー放送研究会発足

- 13人集まる。

- 地下の光ファイバーケーブルを使ったベイタウンだけに流される自主放送をめざす。

5 下旬

- 「ミニコンサート」秋打瀬中での計画スタート
- 「学童ルーム」
- 約 20 名が集まり、運営委員会設立へ動く。
- 「家庭菜園」企業庁と協議
- 「コア建築研究会」10 人弱で協議を開始
- 企業庁の「コア事業化研究会」での論議に対応
- 「図書館研究会」約 10 人
- 個人的に市川市立図書館見学など調査活発「マルチメディア」第 1 回目の会議、
- 約 10 人参加、企業庁やMMS との協議開始。
- ベイタウンのホームページ開設へテスト版を運用
- コアへの要望書作成

5/25 コア研第 1 回運営委員会

- 図書館研究会、コア建築研究会を結成

5/25 「ベイタウンに子どもルーム建設を目指す」 第 1 回全体会議

6/1 幕張ベイタウン自治会連合会結成

- 1 ～ 12 番街参加、3 番街集会室
- コミュニティー放送研究会、自治会連合の結成式をビデオ収録

6/8 コア研第 4 回例会

- 住民 35 名参加、11 番街集会室
- ゲスト：幕張新都心まちづくり協議会 大河原進一 事務局長
- ビジネス街との連携模索
- 朝日新聞 1995 年 2 月 1 日千葉版紹介
- 県企業庁が設計者を決めるまでに、ベイタウン居住者の考えとして「基本構想」を提案。
- 個別の施設要望をまとめて、一つの提案に。
- 運営主体も施設ごとに想定しておく。
- 事業成立の可能性も、ある程度見通しを。
- 具体的プランづくりにも口を出せるように、「設計者選び」の段階から関与できる仕組みを提案したい。
- コア建築研究会より
- 要求機能を予測し、作業班を作る
- イメージを言葉で考える。
- 事例調査や学校、地域とのかかわりを探る。
- 住民から、コミュニティセンターが非常災害時の救急センターとなるよう提案があった。

- 「こんなコアにしたい」住民にアイデアと希望を募集。
- 今後、ゲストスピーカーを招いての住民交流集会と、コア研運営委員会の 2 本立ての活動が展開される。

6/15 コア研第 2 回運営委員会

- 5 番街集会室
- コア運用研究会できる。
- コアの自主的運営方法などを研究する。

6/17 「幕張探検隊」第 2 回探検ツアー

- NTT、ザ・マンハッタンホテル

6/18 図書館研究会 千葉市立南部図書館あずみが丘分館見学

- スポーツ施設、多目的ホール、図書館分館などの複合施設。

6/19 図書館研究会 千葉市立高洲図書館見学

6/22 コア研第 5 回例会

- 住民 35 名参加、12 番街集会室
- ゲスト：千葉市企画調整局調整課長 澤喜蔵 千葉市教育委員社会教育課長 石井一道 など 5 名
- 資料：千葉市第 6 次 5 か年計画（平成 8 年～ 12 年）の概要（抜粋）
- 「こんなコアにしたい」アイデアと希望検討。

7/1 ベイタウンニュース第 2 号 「あなたのアイデアをコア建設に」掲載

7/9 テニス同好会 企業庁と話し合い

7/20 コア研第 6 回例会

- 住民 40 名参加、10 番街集会室
- ゲスト：都市プランナー（ベイタウン事業計画調整委員）蓑原敬さん
- 3 月の事業化研究会の呼びかけ以後、第 1 回会議が行われる様子がない。
- 千葉市側との調整に手間取る。
- 市役所内部の調整にも時間がかかる。
- 千葉市側には、オブザーバー参加という考えもあった。

7/21 「ヴァイオリンとワインの夕べ」コンサート 5 番街中庭

- 御木マドカ、安藤歩主催：5 番街コミュニティ

7/28 県企業庁「幕張ベイタウンコミュニティコア事業化研究会」の第 1 回会合

- やっと開催にこぎつける。
- 翌年3月までに計4回の研究会を開く考え

8/2 緊急コア研運営委員会

- 5番街集会室
- ゲスト：企業庁 加藤副主幹 情報伝達研究所（企業庁のコンサルタント）渡辺厚代表取締役
- コア研だより No.1 発行「ふれあいの中に未来が見える」
- 「企業庁の研究会スタートしました」
- 「コアのイメージ図」

9月 コア研だより No.2 発行「2001年コアの旅」

- 「あったらいいな、こんな図書館」＝図書館研究会作成

10月 千葉県企業庁と松井千葉市長宛てに自治会連合会会長名で要望書提出

- コミュニティ・コアを幕張ベイタウンの中核的な施設にふさわしいものとする。
- 居住者の創造性を生かした施設にするため、関係当局、居住者の協調体制の中で建設する。
- コミュニティ・コアの第1期を2001年までに整備する。
- 第1期工事に当たっては、居住者を中心としたコミュニティ活動を展開できる施設内容とする。これと併せて千葉市の公民館、図書館や郵便局などの施設整備を行う。
- テニスコートの早期整備を要望。

10/18 コミュニティ・コア内の図書館についての公開ミーティング

- 図書館研究会主催
- 5番街集会室
- 「あったらいいな、こんな図書館」の検討

10/19 コア研例会

- 10番街集会室

11/4 第2回幕張新都心住宅地区コミュニティコア事業化研究会開催

- MTG13階 企業庁分室

12/21 ベイタウンファミリーコンサート

- 打瀬中学校

1998

4月 子どもルーム開設

4/11 コア研例会

- 5番街集会室
- 企業庁のコア事業化研究会のまとめについて
- 1997年度コア研会計報告
- ベイタウン祭りでのシンポジウムなどコア研有志による参加を計画

5/1 ベイタウンニュース第12号「コミュニティコア建設、無期限凍結か」掲載

- 設計のための予算が確保できなかった。
- 企業庁の収支悪化が原因。
- 関係施設へのテナント入居から、入居先が維持
- 管理の費用を全て負担する分譲方式に変換しようとした。

5/9 ベイタウン祭りにコア研有志として参加

- 新高校生によるディベート対決！「24時間営業の店舗は必要だ！？」

10/1 ベイタウンニュース第17号「建設先送り」うわさの真相取材記事掲載

1999

4/27 ベイタウンネット「バーチャル会議室」でコアに関する書き込み始まる。

5/8 ベイタウン祭り

- コア研有志による参加「ベイタウン生き物マップ」

6/1 ベイタウンニュース第25号「県企業庁と市、コミュニティコアで基本合意」記事掲載

8/15 都市環境研究所、住民側10名からのヒアリングを開いた。

8/22 防災委員会より自治会連合会会長宛てに、コミュニティコアへの要望書提出

- 防災センターの設置
- 防災倉庫の設置
- 防災設備の設置
- 設計段階での検討要望

9/5 コアを考えるつどい

- 5番街集会室
- ゲスト：都市環境研究所 尾辻信宣さん

- 2001年「第1次コア」の完成を目指し、本格的な動きが始まる。
- 建設は千葉県企業庁、施設管理は千葉市が担当。
- ベイタウン住民の声を再結集することがねらい。
- 尾辻さんから今後のスケジュール説明と、集会参加者の要望アピール。(ここから議事録があります。参照してください)

9/1 ベイタウンニュース第28号「コミュニティコア研究会、住民集会を開催」記事掲載

- 「コアを考えるつどい」の取材

9/12 コア建築研究会

- 18番街集会室(議事録参照)

10/13 移動図書館「いずみ号」がやってくる。

10/22 上杉さん「ベイタウンコミュニティコアへの提案 Vol.1」作成(コア建築研究会・ベイタウンネット)

10/24 コア研運営委員会

- 5番街集会室

10/26 企業庁、千葉市、住民代表、設計者コーディネーターによる第1回目の検討会開催

11/2 コアを考える報告会

- 3番街集会室
- 早期整備施設と将来整備施設の2施設に分ける。
- 施設のゾーニングについての検討
- 施設規模と内容について(議事録参照)

11/30 4者検討会事前打ち合わせ

12/19 コミュニティコアフォーラム

- かるがも館サークルスペース
- 県企業庁からの説明
- 千葉市からの説明
- 基本計画コンサルタント(土田氏)からの説明(議事録参照)

12/21 第2回の4者検討会開催

2000

1/9 コア研運営委員会

- かるがも館 サークルスペース
- 第2回検討会資料の再検討
- 各サークルの報告と要望調整
- NPOの可能性検討(議事録参照)

1/15 企業庁、関東郵政局宛の要望書を連合自治会に提案

- 暫定駐車場の移転に関する要望書
- 郵便局早期開設の要望書

1/23 コア研の「拡大運営委員会」

- かるがも館
- 基本計画草案の内容を事前審議
- 郵便局をコア内に入れられないことについて
- 多目的スペース、子どもルーム、公民館、図書館などの検討(議事録参照)

1/25 コアの基本計画策定のための最終実務者会議

- MTG13階 企業庁分室
- 都市環境の尾辻さんが作成してくる基本計画草案をたたき台にして討議

1/30 NPOについて意見交換会

- パティオス17番街集会室
- いろいろな観点からNPOへの意見が出ており、一人歩きしている。

- どういう形でまとめたらよいかの検討

- 人口1万人程度のベイタウンでの可能性を探る。

2/1 ベイタウンニュース第33号「コミュニティコア建設計画、いよいよ設計段階へ」記事掲載

- コミュニティコア建設計画のあらまし

2/18 公民館を考える会

- 5番街会議室
- ベイタウンの各サークルの代表者を招いて懇談会を開く。
- 設計上の細かい要望や、コア運営について 2.27 コア研拡大運営委員会
- かるがも館
- 都市環境研究所による調査報告書の検討
- 公民館講堂の設計についての提案(浪岡さん作成)
- 鎌取コミュニティセンターの見学報告(浪岡、下川)
- 公民館を考える会(2・18)の報告(湯浅、海下)
- 子どもルームの活動状況報告
- 図書館研究会からの問題点整理と要望
- コアの基本計画の最終的な文書(報告書案)検討(議事録参照)

3月 意匠設計担当協力事務所として、設計・計画 高谷時彦事務所が決まる。

4/2 コア設計者と語る会

- かるがも館
- 尾辻さん（都市環境研究所＝コンサルタント）より経過説明
- 高谷氏の自己紹介と基本設計に対する考え方を語る（議事録参照）
- 5/1 **ベイトウンニュース第 36 号「コミュニティ・コア設計者と語る会」記事掲載**
- 5/11 **県企業庁より「幕張新都心住宅地事業について」のお知らせを全住民に配布**
- 5/13 **ベイトウン祭り**
 - コア設計の現状について、ジャイネパールで企業庁、都市環境研究所、設計者の高谷さんから説明。
- 5/28 **ベイトウン 5 周年記念フォーラム**
- 6/10 **コア研拡大委員会・コア基本設計図を検討する会**
 - かるがも館 サークルスペース
 - 県企業庁より経過説明
 - 土田氏（都市環境研究所＝コンサルタント）からの説明
 - 高谷氏からの施設構想とコアの各施設設計説明（議事録参照）
- 6/11 **幕張新都心住宅地（ベイトウン）事業の変更にかかわる説明会（ゾーニング見直し説明会）**
 - 8 番街 集会室
 - 主催：県企業庁地域整備部幕張新都心建設課住宅地区建設室
 - ベイトウン事業を見直し、変更事業計画を、平成 22 年度まで 10 年延伸させた。（議事録は、ベイトウンネット参照）
- 6/24 **「俺達のホームページ」開始**
 - 「言いたい放題」で活発な書き込み始まる。
- 7/1 **コアの基本設計図を見ながら、あれこれ注文する会**
 - グランドパティオス東の街コミュニティルーム
 - コア設計者の高谷時彦さん、尾辻さん（都市環境研究所）、県企業庁幕張新都心建設課施設班 加藤忠雄主幹らを招く。
 - コアの基本設計は、デザイン会議を経て最終段階となる。
 - この機会がラストオーダーになる。（議事録参照）
- 7/1 **ベイトウンニュース第 38 号「ベイトウン事業の変更にかかわる説明会」「コア輪郭現れる」記事掲載**
- 7/15 **コアのホールに導入するピアノを研究する勉強会**
 - ジャイネパール
 - ピアノ選定委員会（準備会）を作る。
- 7/16 **コアのホールに導入する音響を研究する勉強会**
 - ローズベイハーツ
- 7/16 **「まちづくり研究会」1 回目の集会**
 - ローズベイハーツ
- 7/29 **「ホール音響&ピアノ」関係の「ミニ報告会」**
 - かるがも館
- 8/1 **ベイトウンニュース第 39 号「コミュニティ・コアいよいよ大詰め」記事掲載**
- 8/5 **私もひとこと！コアのホールを考える会**
 - グランパティオス公園西の街集会室
 - コアのホールをどう考えるか？
 - 今後、コアのホール建設
 - 運営に住民はどう取り組んでいくべきか？
 - 高谷さん（コア設計者）より、設計の現状を聞く
 - 音響設計について 福地智子さんより説明（永田音響設計）
 - ピアノ選定委員会：隅山さんの発表
 - コアのピアノはどういうものがふさわしいか？
 - コアのコンセプトである生音重視の中身について検討
 - 音響選定委員会：今川さんの発表（議事録参照）
- 9/2 **コア研の拡大運営委員会**
 - 5 番街集会室
 - コアの実施設設計図を見ながら整理し、方向性を定めて行く。（議事録参照）
- 9/9 **コアの設計図最終案を見る会**
 - 3 番街集会室
 - コアの最終的な実施設設計図を見ながら検討し、ハード面のメドをつける。
 - コア設計者、高谷さんからの説明（議事録参照）
- 9/10 **チャリティコンサートの実施について第一回目の打ち合わせ会**
 - ベイトウンのピアノの先生 5 人ほか 12 名が参加
- 9/16 **ピアノ発表会の打ち合わせ**

- 9 番街集会室

11/10 チャリティコンサート「御木マドカ&安藤歩 コンサート」

- ホテルフランクス

12/9 第1回幕張ベイタウン合同ピアノ発表会

- 幕張総合高校文化ホール

2001

1月 コア研究会ホームページが始まる

2月 コア杭打ち終る

3/1 ベイタウンニュース第46号「コミュニティコア 建設工事始まる」記事掲載

3月 コア建設業者が決まる

- 競争入札により、新日本建設、栄光社、京葉工管となる。(空調機械は、公民館、図書館分離発注)

3/23 コア着工

3/31 コアの現状報告と今後の方針を話し合う「コ ア研拡大運営委員会」

- 5 番街集会室
- コア建設業者紹介
- 千葉市の13年度予算可決
- コアの公民館部分：約600万円(和室、クラフト室、調理室など)
- ホール部分：約500万円
- ピアノは来年度予算ではなく、再来年の平成14年度予算で上程する。
- ピアノは、今のところ100万円くらいのアップライトしか想定していない。(議事録参照)

3/31 メーリングリスト：BaytownForum 開設

4/1 ベイタウンニュース第47号「コミュニティ・ コア、いよいよ着工へ、来年3月オープン」 記事掲載

4/2 コア研から2名が、新日本建設社長と会談

4/14 コアの工事説明会

- 主催：千葉県企業庁地域整備部 事業管理課
- 8 番街集会室
- コア工事概要の説明(議事録参照)

4/18 市長候補への質問状作成

7/3 打瀬分館図書に関する希望図書の要望書提出

- 図書数は660冊を越える。

7/6 「公民館を語る会」打ち合わせ

- 稲浜公民館(議事録参照)

7/14 公民館を語る会

- 10 番街集会室
- 鶴岡新市長のコアのピアノと文化振興についての回答を紹介
- 千葉市からの説明(議事録参照)

7/17 図書館関係連絡会

- テクノガーデンの企業庁分室

7/28 幕張新都心公民館(仮称)を語る会 PART2

- 5 番街集会室
- 千葉市教育委員会生涯学習振興課課長を招く
- ピアノや有料コンサートについて
- オープニングイベントを開催したい
- 公民館の名称などについて(議事録参照)

8/1 ベイタウンニュース第51号「公民館を語る会 開催」記事掲載

8/4 幕張新都心公民館(仮称)を語る会

- PART3
- 5 番街集会室
- 千葉市の公民館開設担当の方から詳しい説明を聞く(議事録参照)

8/26 コア拡大運営協議会

- 5 番街集会室
- 9月8日開催「ピアノ選定会議」の段取りについて検討

9/8 みんなで考える！「コアのピアノを選定する 会」

- グランパティオス公園西の街集会室
- コアのピアノに求められるもの(ピアノ選定委員会・隅山)
- ベイタウンは音楽の街だ(鈴木真)
- 私の設計したホール(高谷時彦)
- コアの音響はすばらしい(永田音響・福地)(議事録参照)

9/22 コミュニティコア・開館記念イベントを考え る会

- パティオス5 番街集会室
- コアオープン記念イベントを具体的にどうするかを考える(議事録参照)

10/1 ベイタウンニュース第53号「コアのピアノを

選定する会報告」記事掲載

10/6 コミュニティコア

- 開館記念イベントを考える会 2
- 5 番街集会室
- 新しいイベントの提案（議事録参照）

10/13 クリスマスコンサート 1 回目の打ち合わせ

- 5 番街集会室

10/20 コミュニティコア開館記念イベントを考える会 PART 3

- 5 番街集会室

10/27 ベイタウン・クリスマスコンサート」の準備会

- 5 番街集会室
- 当日のスタッフ募集

11/10 コミュニティコアの愛称を決める会議

- 市役所主催
- 公募で約 100 点が集まる。
- コアの愛称が「幕張ベイタウン・コア」に決定。

12/1 「クリスマスコンサート準備会」と「コア開館イベント検討会」の合同会議

- 5 番街集会室

12/22 クリスマスチャリティコンサート

- 神田外語大学ミレニアムハウス

2002

1/12 第 1 回コア開館イベント実行委員会

- 5 番街集会室
- 開館イベントスケジュールの検討（議事録参照）
- 「コアと私」原稿募集開始

1/26 第 2 回コア開館イベント実行委員会

- 10 番街集会室
- 開館イベントスケジュールの検討（議事録参照）「21 世紀の図書館をめざして」
- 講師：浦安市立中央図書館長 常世田 良
- セントラルパークウエスト
- シータワー集会室
- 千葉市の図書館を考える会主催
- コア研共催

1/31 コアの建物が完工新日本建設から企業庁への引渡し式

2/9 第 3 回コア開館イベント実行委員会

- 5 番街集会室
- ホールを中心としたイベントの開催時間、責任者、予算、有料化、資材の確認など。（議事録参照）
- コアの住民内覧会

2/23 第 4 回コア開館イベント実行委員会

- 4 番街集会室
- 開館 1 カ月前となり、ポスター、チラシ、チケットなどの最終確認。
- 当日のサークルごとの体制作りにも本格的に着手。
- いろいろなイベントが立てこんでいるので、その調整。
- お手伝いなどのお願い。（議事録参照）

3/2 子どもルーム・図書館説明会（議事録参照）

3/3 「コア開館イベント実行委員会（上部会議）」開催。

- 市からの予算の受け皿機関として構成。

3/5 「美浜区民だより」にベイタウン・コアの概要掲載。

3/9 コアを利用するサークル対象に説明会開催

3/23 幕張ベイタウン・コア オープン

3/9 コアのホールにコンサートピアノを入れる会・発起人会

3/9 コアを利用するサークル対象に説明会開催

- コア公民館和室
- 千葉市のピアノ予算が、230 万円ほど付いた。
- コアの開館をまじかに控えて、ピアノ問題はまだ決着していない。
- ピアノ問題で意見集約を行い、会館イベントでの試弾後、今後どうするかなど、現状報告と対策を話し合う。（議事録参照）

3/16 第 5 回コア開館イベント実行委員会

コアのホールにコンサートピアノを入れる会

- コア公民館講習室
- コアイベントの最終点検。
- 「コアのホールにコンサートピアノを入れる会」発起人会のスタートを受け、実務的な会議。（議事録参照）

3/23 ベイタウン・コア オープン開館セレモニー

- 主催：千葉市

- 主催者挨拶：千葉市長
- 来賓挨拶：市議会議長
- 館内案内のあと、ピアノ演奏 2曲
- パティオス2番街の小学5年生と、習志野市在住の高校2年生が演奏。(ベイトウンのピアノの先生に習っている)

寺子屋工作ランド

防災、地震、交通、防犯などの展示

- 防災委員会から非常食を配る。

打瀬中学校1年生授業「情報をデザインする」の展示
発表

ベイトウン・コア設計者と語る会

米国ダートマス大学混声合唱団コンサート

美浜図書館打瀬分館の展示

- 「写真で見る幕張の海・いまむかし」
- 「幕張新都心に関する資料」
- 「椎名誠の著作物」

3/24 地域が子どもを育てる一街と地域教育映画と

ワークショップ

先輩公民館による祝賀イベント

アイルランド料理講習会

- 後援：アイルランド大使館

W杯アイルランド応援イベント

- 「アイリッシュ・ビデオ・ナイト」

3/26 子ども狂言クラブ公演

- 稲毛第二小学校特設狂言クラブ

3/27 図書館主催のおはなし会

3/30 第1回ベイトウン寄席

- 三遊亭円橘、一竜齊貞山

- 神田外語大ミレニアムホール池田館長の企画・司会
韓国映画「ミスター・マンマ」ビデオ上映会

- 共催：韓国文化院

3/31 仲道郁代ミニコンサート

4/6 ベイトウン・ミュージックフェスタ

4/7 ベイトウン・ミュージックフェスタ

4/13 「お話の会」絵本読み聞かせ

●質問

千葉市長選立候補予定者に幕張新都心の文化振興策について御意見をお伺いします

2001年4月25日
幕張ベイタウン住民有志

みずみずしい若葉の季節になりました。お元気でご活躍のことと思います。

私たちは幕張新都心の住宅地域である幕張ベイタウンに住む一般市民です。

21世紀型の未来都市を志向してスタートした幕張新都心は最近、コンベンションシティの性格にショッピングシティの趣向も加味し、発展しつつあります。幕張ベイタウンも開街後5年で人口10000人を超える住宅街に成長しました。今後10年間で計2万6000人の街になる計画です。

私たちは千葉市民として、市政のあり方にも強い関心を持ってきました。6月に行われる市長選挙は、今後の千葉市の方向を決める選挙として注目しています。

新聞報道などを通じて、貴殿が市長選挙に立候補される予定であると聞いています。この際、ぜひ、「幕張新都心の文化振興策」につて御意見をお伺いし、「一票の選択」の判断に役立てたいと思います。お忙しい時期とは思いますが、立候補予定者の意見公開の場とお考えいただき、御意見をお寄せ頂ければ幸いです。

なお、ご回答は住民製作のホームページに掲載するほか、印刷物としてもベイタウン全戸に配布する予定です。恐縮ですが、5月10日までに（回答到着順に掲載）ご回答頂ければ幸いです。ぜひ、よろしくお願ひします。

＊

＊

幕張ベイタウンには、住民活動の中核施設として、公民館（ホールを含む）、図書館分館、子どもルームによる複合施設コミュニティコア（2階建て・約2000平方?）が建設されつつあります。4月中旬に工事が始まり、来年3月中旬、完工の予定です。

コミュニティコアは千葉県企業庁が建設し、千葉市が管理運営に当たるというユニークな施設です。企業庁、市、住民代表、コンサルタントによる4者協議で「小粒でもキラリと光る施設」「音響重視のホール建設」などのコンセプトが固まり、基本計画に盛り込まれました。基本計画には施設運営に「住民参加」の理念もうたっています。

コアのホールは「音響重視」のコンセプトにしたがって設計されました。音響設計に専門家も参加し、東京近郊では有数の小ホールになると期待されています。千葉市もこの点を重視し、平成13年度予算で「ホールのイス・机など」として500万円を計上しました。しかし、不安な点が残されています。

それはピアノの問題です。公民館付設のホールという性格、さらに財政上の問題から、どのような種類のピアノを導入するか決まっていなのです。私たち住民は、ピアノ教師や音楽ファンを中心に「ピアノ選定委員会（準備会）」を作り、この問題を考えてきました。その結果、コアのホールにはきちんとしたコンサートが開けるように「フルコンサートタイプのピアノか、あるいはセミコンサートタイプのピアノを置くことが適切である」（経費1000万円強）との結論に達しました。

私たちは少しでも夢の実現に近づけようと、ピアノ資金調達のため、昨年12月、バイオリニストによる「チャリティコンサート」、3歳から70歳まで約60人が参加した「ピアノ発表会」を行いました。住民の関心も高まりつつあります。

しかし、千葉市側のこれまでの見解は「家庭用のアップライトピアノか、小規模のグランドピアノになるかもしれない」という水準にとどまっています。これでは「音響重視のホール」として県企業庁が多くの予算と情熱を傾けたホールの性格を損ねるだけでなく、ハード（建物の水準）とソフト（ピアノの水準）のミスマッチを引き起こします。「予算の無駄遣い」という批判を免れないでしょう。

千葉市が平成13年度予算で「コアのホールの性格に配慮した別枠でのかさ上げ」（担当者の話）を行うなど、行政当局の理解は少しずつ深まりつつありますが、不安は消えません。〈質問1〉 コミュニティコアのホールに配置されるピアノ購入の予算は、平成14年度予算で配分されます。貴殿が市長に当選された場合、その初の予算案編成に組み込まれるわけです。上記のピアノ問題について、どのようにお考えになりますか、御意見をお聞かせ下さい。（回答は恐縮ですが400字以内でお願いします）

〈質問2〉

幕張新都心は誕生以来12年目の春を迎えています。従来目標だった「産業振興」に加え、第2ステージでは「文化振興」が3大目標のひとつに掲げられています。コアの公民館は「幕張新都心公民館」（仮称）であり、まさに幕張新都心の文化活動を担う拠点のひとつです。「マクハリの文化」をどう育てるのか――。貴殿の構想をお聞かせ下さい。（これも恐縮ですが、回答は400字以内でお願いします）。

●回答＝到着順

〈藤井たけのり氏〉

千葉市の借金残高も利息を含むと1兆1千億円になっています。あらゆる事業を三つの視点①不要なものはやめます。②民間にまかせるものはまかせます。③先に延ばせる事業はくりのべます。から見直します。10年の時間をいただいて、借金体質を変えていきたいと考えています。ピアノの件は専門家の意見の裏付けをとって必要ならば、予算措置をしていきたいと思っておりますので、少し時間を下さい。

私の政策の一つとして中学校区に一つの図書館を建設します。その図書館は、勉強できる部屋とくつろげる部屋をつくり、子供達の居場所と文化の拠点としての役割をはたし、使用時間も午後10時頃までと思っています。敷地は中学校の用地で対応します。その二は小・中学校の空き教室をトイレ・玄関を別につくり、地域のサークル室として利用できるようにしたいと思っています。行政は場所を提供していきたいと思っています。財政難の折り、最低の費用はいただきたいと思っています。例えば図書館での勉強できる部屋は、2時間100円程度にし、その料金はすべて図書費にあてたいと思っています。ソフト面などで協力できる点など行政でやれることは、やっていきたいと思っています。

〈河野俊紀氏〉

この度は幕張新都心の文化振興策についてご質問を寄せていただき、ありがとうございます。同じ住宅地域に住む者として、ベイタウンの皆様が地域活動に取り組まれている姿勢には、つねづね敬服しております。

さて、今回いただきましたご質問に対して、私の考えを以下に示させていただきます。

1. ピアノ購入の予算化について

コミュニティコアの事業主体は千葉県企業庁ではありますが、住民の方々により、1997年にコミュニティコア研究会が発足され、単なる器だけの要望にとどまらず、コミュニティコア完成後をも視野に入れた活発な活動が展開されています。コアホールに対する住民の方々の思い入れは十分に理解しているつもりです。その中で音響重視のコアホールに見合うだけの機材（この場合ピアノ）を設置する為には、やはり、今までの千葉市の公民館レベルの横並びとして「家庭用のアップライトか小規模のグランドピアノ」では釣合いが不自然なものと思います。今後、千葉市のコミュニティコア事業に関する予算状況を調査し、「コアのホールの性格に配慮した別枠での嵩上げ」等を検討する中で、できるだけ住民の方々の希望に合うように努力していきます。

2. 「マクハリの文化」をどう育てるかのご質問に対して 幕張ベイタウンは街開き後、6年が経過しましたが、

住民主体によるコンサート活動等の文化活動が活発な反面、これを行なう器（場）の整備が立ち遅れていた感はありません。コミュニティコア研究会等の地道な活動の成果が、来年春のコミュニティコア完工に結実し、これで漸くベイタウン居住者の方々の活躍の場が出来ます。しかし、いくら立派な器ができたとしても、それを維持運用においても住民の方々と行政がしっかりと協力しなければ、地域の文化事業は育ちません。そこでまずは千葉市の文化事業予算を検討し、各公民館に対する一律な予算配分ではなく、地域の特殊性や活動状況を考慮した予算を検討していきたいと思います。次に豊かな文化事業が活発に育まれる雰囲気の後押しするため、住民主体の文化事業に関しては千葉市が積極的に後援していくつもりです。そのためには行政への住民の皆様の声が必要です。千葉市の文化事業の活性化のために皆様の活発なご意見をお寄せ頂けるよう期待しています。

<橋本 登氏>

(質問 1 への回答)

一流の人・モノに接することは道を極める最短距離。私達はしばしば「一流を目指すなら、一流の人・モノに接するにしかず」と聞かされます。「一流」だけが接する人をして真の感動と歓喜を抱かせます。人間の能力に感性と理性がある。感性で文化・芸術を極め、人間を人間たらしめる。人間も社会も二大要素が、一方が欠落することなく対等に機能して正常な姿を創る。戦後の社会の在りようは長い間感性の醸成をないがしろにした。やっと今人間は社会の構成の一部品に擬せられる運命からルネサンス的人間性の回復にめざめた。21世紀は感性躍動の時代

- 文化振興の気分が社会にまんえんします。新しい千葉市の姿は「市政の運営は市民との対話におく」
- 「ニューリーダーは常に市民のサークルの中にある」
- 「行政も税金も市民からの預かりもの」。どうぞ「新しい文化の振興」のスタートをきる時です、一流のモノの段取りをして下さい。素晴らしいピアノを購入して下さい。何千万円であっても「新しい街づくり」にかかわる市民の熱意にはかえられません。

(質問 2 への回答)

文化の振興は「市民主導・行政全面フォロー」が理想幕張新都心は政令指定都市・千葉市のまぎれもない「顔であり・玄関」です。その在りようが都市としての良否を決定づけます。当該地区の大型の建物や街区は人間にたとえば身体であり、「幕張の文化」は精神であり魂です。両者が相まってこそ素晴らしい人間が誕生します。21世紀の新千葉市政は「文化の振興」を最大のテーマのひとつにします。地域の自立意識と連帯が涵養されて喫緊の課題である子育て支援・福祉・教育・防災といったことが解決されます。「連帯の強化」は地域の人達による文化の共有がベスト。文化の発露は市民の自由な発想が基盤。幕張新都心は新しい街、さながら真白なキャンバスに自由に文化を描くことができます。自由に活発に文化の発信をしてみてください。行政は物心両面で全力でフォローします。試行錯誤の中から千葉市の顔にふさわしい文化が確らず取れんされますから。絶対に官製の文化振興はノーです。

<鶴岡 啓一氏>

新緑の候、皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

過日頂きましたご質問の回答が、大変遅くなりましたことにお詫び申し上げます。幕張新都心地域は、皆様ご指摘の通り初期の計画に向けての街づくりが着々と進行しております。ご質問の文化振興策としまして、ハード面で申しますと、本市の生産学習施設は、生涯学習センターを新たに設置したほか公民館 46 館、図書館は、全国に誇れる中央図書館を本年 4 月オープンし各区には大型図書館を配置したほか図書館分館、公民館図書室等

をネットワーク化している所であります。今後の成人教育の方向として、社会教育から生涯学習への移行を確実に進めており、市民の多様化したニーズに的確に対応すべく努力をしております。幕張新都心の各種施設と致しましては、先に開校しました小・中学校は、教育界に大きな反響と注目を集めた所であります。これからの当地区の整備は、生涯学習の場の設置を重点にしております。とりわけ図書館・公民館・ホールは、その中核を為すものと考えております。

ご質問1の公民館ホールのピアノ設置につきまして私見ではありますが、施設の設備にマッチしたものが必要であると考えております。

ご質問第2の文化振興策につきましては、過去の文化振興は良い文化活動を見る鑑賞文化活動が主流であったと思いますが、近年は、生活環境の変化、高学歴化、高齢化にともない自ら参加する文化活動へ移行しています。また、文化に対する市民ニーズや価値観も多様化しています。これらの状況を踏まえ行政主導の文化ではなく、行政は市民の行う文化活動をサポートして行くことが肝要と思います。そこで私は、皆様のご意見をしっかりと受け止めハード、ソフト両面のバランスのとれたより高度な千葉市の文化を創り上げたいと考えております。そのため私は、『じっくり聞いて しっかり実行』を掲げ、新しい千葉市を皆様と創ってまいり所存であります。

<千葉みち子氏>

質問1、

コミュニティコアのホールが、住民参画で設計・工事が進んでいることは大変喜ばしく思っています。ご心配のピアノ購入についてですが、示当局もまだ考えはまとまっていません。私も音楽鑑賞は大好きですので、このホールには良質のピアノが必要不可欠だと考えています。皆さんご要望のピアノにつきましては是非予算を計上したいと思います。ムダと浪費の大型開発事業を見直せば、予算は充分あります。

質問2、

私は市民の、文化が豊かに発展することをめざして、文化振興条例を関係者との十分な協議を重ねて制定します。財政的裏付けにも配慮します。「マクハリの文化」を育てる主人公は皆さんだと考えます。行政はサポート役と認識しています。全国では、アマチュアの方の練習所の確保、ホールなどの民主的運営を実施している話も聞いております。私は全国の経験を学びつつ、マクハリの文化の花が開くようサポート体制をつくりたいです。

千葉市長 鶴岡啓一殿
千葉市教育長 飯森幸弘殿

2001年10月20日
幕張ベイタウン自治会連合会会長 須田 善勝

要望書幕張ベイタウン・コミュニティコアのピアノ選定について

要望 「施設の設備にマッチした」ピアノを選定するという市長の公約を、ぜひ、実現して頂きたい。
要望 コミュニティコアのホールに設置されるピアノは、上記の選定指針から見て、セミ・コンサートタイプ以上の機種がふさわしいと考えます。

さわやかな秋風の季節になりました。新市長にご就任以来、積極果敢な行政運営で市政に新風を送り込まれていることに、まず敬意を表したいと思います。「じっくり聞いて、しっかり実行」。市長の掲げられるスローガンは時代にマッチしたものと高く評価しています。

私たちは幕張新都心の住宅地域である幕張ベイタウンに居住する市民です。21世紀型の未来都市を志向してスタートした幕張新都心は、コンベンションシティの性格にショッピングシティの趣向も加味し、発展しつつあります。幕張ベイタウンも街開き後5年で人口1万人を超える住宅街に成長しました。今後10年間で計2万6000人の街になる計画です。

今回、街の中央部に建設されるコミュニティコア（仮称）ホールのピアノ選定にあたって、これまでの経過と討議の概要をお知らせし、市長の全面的なバックアップをお願いしたく、ここに要望書を提出します。

コミュニティコアは住民活動の中核施設として、公民館（ホールを含む）、図書館分館、子どもルームによる複合施設（2階建て・約2000平方?）です。4月中旬に工事が始まり、来年3月中旬、完工の予定です。ご存知のように、コミュニティコアは千葉県企業庁が建設し、千葉市が管理運営に当たるというユニークな施設です。私たち幕張ベイタウン自治会連合会はこの施設建設と運営に大きな関心を持ち、常設委員会であるコミュニティコア研究委員会を中心に住民要望を取りまとめてきました。十数回にわたる企業庁、千葉市、住民代表、コンサルタントによる4者協議を経て「小粒でもキラリと光る施設」「音響重視のホール建設」などのコンセプトが固まり、基本計画に盛り込まれました。基本計画には施設運営に「住民参加」の理念もうたっています。

コアのホールは「音響重視」のコンセプトにしたがって設計されました。音響設計に専門家も参加し、東京近郊では有数の小ホールになると期待されています。千葉市もこの点を重視し、平成13年度予算で「ホールのイス・机など」として500万円を計上しました。しかし、不安な点が残されていました。それはピアノの問題です。このためコミュニティコア研究委員会はピアノ教師や音楽ファンを中心に「ピアノ選定委員会（準備会）」を作り、この問題を考えてきました。少しでも夢の実現に近づけようと、ピアノ資金調達のため、昨年12月、バイオリニストによる「チャリティコンサート」、さらに3歳から70歳まで約60人が参加した「ピアノ発表会」も行いました。

今春、千葉市長選挙の実施にあたっては住民有志が各立候補予定者に「幕張新都心の文化振興策」についてアンケート調査を実施しました。当選された鶴岡啓一市長からは、コアホールのピアノ選定について「施設の設備にマッチしたものが必要である」とのご回答を頂き、また、全般的な文化振興策について「行主導の文化ではなく、行政は市民の行う文化活動をサポートして行くことが肝要と思います。皆様のご意見をしっかりと受け止めハード、ソフト両面のバランスのとれたより高度な千葉市の文化を創り上げたい」との見解表明を頂きました。これ

は、きわめて時代にマッチした考え方であり、私どもも大いに賛同できるものです。また、千葉市の公民館担当主管課である生涯学習振興課は、今年6月以降、3度にわたる「幕張新都心公民館（仮称）を語る会」を通じて、住民との対話を重ねてきました。これは鶴岡新市長の「じっくり聞いて、しっかり実行」のスローガンを具体的に実践されたものであり、その姿勢は住民からも高く評価されています。

9月8日午後2時から、ベイタウンのグランパティオス西の街集会室で「コアのピアノを選定する会」が開かれ、住民、音楽関係者、千葉市担当者など**人が、ピアノ問題について集中的に討議しました。コア設計者、ホール音響設計者のほか住民代表3名が「コアホールの設計思想」「類似施設のピアノ調査結果」「ベイタウンでの音楽活動と将来」「ベイタウン周辺の音楽人口」などについて発表し、みんなで真剣に討議しました。その結果、この要望書の冒頭に掲げた通り、以下の点で一致しました。

要望1：「施設の設備にマッチした」ピアノを選定するという市長の公約をぜひ、実現して欲しい。

要望2：コミュニティコアのホールに設置されるピアノは、上記の選定指針から見て、セミ・コンサートタイプ以上の機種がふさわしいと考えます。

市長におかれては、このような事実経過と住民の要望を十分にお汲み取りいただき、新年度の予算編成に反映していただくよう、強く要望する次第です。幕張ベイタウンでは住民の創意工夫による文化活動が多角的に育ちつつあります。コアホールのピアノ選定が住民の活動を励まし、21世紀の街作りに貢献できるものになるよう期待しています。なお、これまで2回のチャリティコンサートによる収益金20万円を、ピアノ購入資金の一部に充当していただきたいと考えています。きわめて少額ですが住民の熱意としてお受け取り頂き、ピアノの機種決定に反映していただければ幸いです。鶴岡啓一市長のご健康とご活躍を祈念し、以上、要望と致します。

幕張ベイタウン・コアに「コンサートピアノ」を設置するために ご協力をお願い

2002年3月9日

コア・ホールにコンサートピアノを入れる会（発起人会）

記

21世紀型のコミュニティー施設「幕張ベイタウン・コア」が3月23日、開館します。「音響重視」のホール（200人収容）、公民館、図書館分館、子どもルームからなる複合施設。コアは街の核であり、ベイタウンの発信基地です。

しかし、残念ながら「音響重視のホール」に設置されるピアノの問題が決着していません。千葉市の来年度予算によると、ピアノ購入予算は230万円。これは高校体育館にあるピアノと同水準であり、ハード（立派なホール）とソフト（貧弱なピアノ）がミスマッチを起こします。コアのホールは、サントリーホールの音響設計に当たった「永田音響」が設計に参画した立派なものです。それはコンサートピアノの設置を前提に設計されています。

コンサートピアノは通常1500万円ほどの高額商品です。しかし「新古品のフルコンサートピアノ」の発掘によって、事態は打開されました。イタリア製のFAZIOLI。2回の演奏会、1回の録音に使用されました。提示されている金額は***万円（オフレコで金額を説明します）。このピアノはコア開館イベントで3週間かけて試弾する予定です。3月31日に来演するピアニスト・仲道郁代さんも、このFAZIOLIで演奏してくれます。

フルコンサートピアノは、プロのピアニストが弾くだけのものではありません。滋賀県栗東市にあるFAZIOLIのフルコンサートピアノは、町のピアノ発表会で優先的に利用されています。オールマイティーのピアノです。

市役所側もこの「新古品のFAZIOLI」には大きく心を動かされました。私たちが「フルコンの新古品はきわめて珍しい。神の恵みと言っていいほどだ」と説得しましたが、「地域間のバランス」という障壁を乗り越えることは出来ませんでした。

しかし、幸いにしてピアノの予算額と提示額の差額は、埋められないほどの溝ではないと思います。千葉市側も住民による資金調達分と市予算とを合わせて、フルコンサートを購入する方法を検討中です。

ベイタウンは「欧州風の街並み」がアピールし、順調に成長してきました。多彩な教育・文化活動も高く評価されています。これに「コアのある街」「コンサートホールのある街」「コンサートピアノのある街」との評価が加われば、東京近郊の住宅ゾーンとして、今後10年間の展開もきわめて明るい見通しを持つことが出来るでしょう。

短い文章でこの間の経緯を全て言い尽くすことは出来ません。コアのピアノがベイタウンの将来に与える重要性をぜひ理解頂き、フルコンサートピアノ調達にご協力を頂けるならば、誠に幸いです。



上杉敏郎さん（16番街）が発表した、住民による最初のコアのイメージ。
この作品の一部は後に基本構想にも取り入れられた。

幕張ベイタウン・コア 開館イベント写真集



3月23日 10:00 テープカット
これをもってコアは正式オープン
撮影：福永 幸生（10番街）



3月23日 10:00 子どもルーム前で開かれた寺子屋工作ランド
写真提供：幕張ベイタウンニュース



3月23 コア・アトリウム

写真提供：幕張ベイトウンニュース

3月23日 10:00 コア・ホールにて、千葉市長の挨拶
撮影：福永 幸生（10番街）

3月23日 設計者と語る会

写真提供：幕張ベイトウンニュース



3月23日 米国ダートマス大学合唱団の公演
写真提供：幕張ベイトウンニュース



3月24日 アイルランド料理講習会
写真提供：幕張ベイトウンニュース



3月24日 アイリッシュビデオナイト
写真提供：幕張ベイトウンニュース

なかみち いくよ こども
仲道郁代～子供たちへのおくりもの～
え はなし
絵とお話とピアノでつづる
ほし
“星のどうぶつたち”

星のどうぶつたち

今夜こそ、つかまえにいこう。
宝物の音符のボトルの中に、星のどうぶつたちをつかまえに。
星のどうぶつたち「星のうた」より

©A. tsuko Hinata

プログラム
田中カレン：「星のどうぶつたち」より
「星のうた」「やき」「こぎつね」「きりん」
「うお」「りゅう」「ライオン」「はくちょう」他

ピアノ：仲道郁代
絵：ひなたあつこ
お話：みのぐちかずみ

協賛：ユニオン ツール株式会社
協力：カワイ出版/BMGファンハウス
制作：ジャパン・アーツ、かもねぎハウス
セカンドプロデュース

この特別なコンサートはユニオン ツール株式会社のご協賛により実現いたしました。

仲道郁代

3月30日 仲道郁代ピアノコンサートのポスター
写真提供：コア・オープニングイベント実行委員会



4月7日 『栗本修と KRONIZCK』

写真提供：ベイトウン ミュージックフェスタ実行委員会



4月6日 R&W (リコーダーバンド)

写真提供：ベイトウンミュージック
フェスタ実行委員会



4月7日 打瀬中学校吹奏楽部公演

写真提供：ベイトウン ミュージックフェスタ実行委員会



4月7日 「チバ・ウィンド A.S.I.」

写真提供：ベイトウン ミュージックフェスタ実行委員会



4月7日 「ベイトウン中年バンド」

写真提供：ベイトウン ミュージックフェスタ実行委員会